

創学舎ニュース

Sougakusha News

No.373

あなた方はもつるピコン川を渡ってしまった。「賽は投げられた」のだ。もはや後戻りはできないのだから、前進して合格を勝ち取るのみだ。祈合格。
(山崎 将之)

これまで我武者羅に頑張ってきたから、あとは自信を持って立ち向かえば大丈夫!
(大久保 宏美)

今日一日、頑張ろう。明日頑張れるはずがない。だからまず、今日一日、頑張ろう。
(高寺 大介)

最後の最後まで諦めずに、自分をギリギリのところへ追い込むこと。そうすると必ず道が開けます。寝る時間を削りなさい!!
(澤田 秀樹)

不安で苦しいでしょうが、さあ、もう一踏ん張りです。努力できることに感謝しましょう。
(柳 善一)

受験の選択肢に「合格」と「不合格」の二択はありません。「合格」か「諦める」かの二択です。諦めない心があれば、あなたを合格に導きます。
(村田 寛之)

受験に失敗したと思えるのは、受験に挑戦する勇気を持った者だけだ。自分を信じて突き進め! みんな!!
(森 清志)

受験が近づくとつれ不安は出てくると思う。厳しいことを言ってもいいが、最後まで応援する。約束する。
(小池 寿幸)

「あれだけ毎日頑張ったのだから! 大丈夫!」という日々を積み重ねよう。緊張したら、目を閉じて、ゆっくり深呼吸を3回ね
(関野 光希子)

「今歩くのをやめれば、明日から走りなればならない。」これからの日々を大切に過ごしていきましょう。
(中野 桃花)

入試は近い。自分の力を信じて、他人と比較するのをやめて、他人の問題に集中せよ。規則正しい生活を守り、睡眠をきちんと取り、毎日計画に沿って学習せよ。結果は後からついてくるものだ。
(大場 健司)

頑張ってきた成果は必ずでる!最後の最後までやり切れ!そして合格を掴み取れ!
(長坂 浩之)

受験生になったとき、きみは、どういった結果を望んだか?もう一度思い出せ。毎日思い出せ。三月をどういう気持ちで迎えたのか?よく考えろ。毎日考えろ。そして、残された日々を大事に一瞬の無駄もなく大事に過ごせ。
(小林 健輔)

高3のとき、長崎から、18きつびで、近畿と関東の大学を受験しに行った。緊張よりも、「自分の人生を自分で選択できる自由」への喜びの方が強かった。君たちもその自由を噛みしめながら前へ進め。
(関 憲吾)

誰かに「できない」と言われても、その人があなたの未来を決めるのではない。あなたの未来を決めることができるのは、あなただけだ。あなたがあなた自身の手で、描いた夢を掴み取れますように。
(櫻村 公太)

受験生への

メッセージ



入試は目前!今自分ができること一つ一つに集中して取り組もう!結果は必ずついてきます。
(服部 恵治)

不安なときは一人で抱えずに。やるべきことを一つずつ。毎日コツコツやりましょう!
(梅田 優子)

ラストスパート!今まで学んだことをしっかりと復習して試験に臨もう!
(上田 悠介)

頑張っている姿を見せてくれてありがとう!絶対に、みんなと一緒に笑いましょ!あと少し。やればできる!!
(池田 恵理)

もうすべ!「神ってる」自分を見せるときが来ます。最後まで「強気」で自分を信じて努力しましょ。
(新島 景子)

副教材・過去問題などたくさん学習したテキストやノートがあります。当日の自信となるので気持ちをこめて学習に取り組んでいきましょ。
(浅岡 茜里)

残りの限られた時間ですが、自分を信じ強い気持ちで最後までやり抜いてください。みんなであって春を迎えよう!
(平間 信行)

寝言でイデオロムが出てくるくらい、シャープペンの先から煙が出るくらいやっているよな。春、そんな君たちを迎えるために、今、桜も準備している。
(五口市 浩)

きちんと努力を積み重ねただけ自分の力になる。自分を信じて最後まで積み続けよう。
(松永 弘文)

今まで勉強してきたことを自信にして、来年の充実した自分自身を想像して、残りの時間も頑張ろう!応援しています。
(岡本 武)

Keep climbing! 今までの努力の上に上がって、さらに毎日着実に山を登っていつか感動しながら、受験までの日々を過ごそう。
(本多 隆範)

体調にはくれぐれも気をつけて。100%の状態を挑みましょう。
(上野 真宏)

「雪の重みに耐えた梅の花は美しい花を咲かせる」といいます。最後の瞬間まで得点力が伸びると信じ、がんばって!
(三木 篤史)

入試までに残された時間は少なくなりませんが、やり方次第ではまだまだ得点力は上がります。決してあきらめず、最後の最後まで正しい努力を続けてください。
(村上 静馬)

「どうしてこんなに悩むのか」「ああ、自分はこの志望校、この目標からは逃げたくないんだ」という証拠、だと思っ。悩むことはそれだけ真剣だって証拠。我々はそうした【悩める受験生の味方】です。
(松尾 裕史)

人は歩みをとめた時に、そして挑戦をあきらめた時に年若いいくのだと思えます。受験に向けて前進あるのみ!!
(上條 純一)

なすべきことにひたすら集中!!実力は直前で驚くほど伸びる!最後の最後までけっして諦めないこと!!
(高橋 力)

いつも、快活で、上機嫌で過ごせたら吉。今日もいつもと同じく、勤勉に、謙虚に、感謝の気持ちで頑張る。誰にもできるわけではない、その方法が合格を運んでくる。
(大山 司)

山高み 雲井に見ゆる 桜花心のゆきて 折らぬ日ぞなき
凡河内躬恒(古今和歌集より)
諸君が納得できる結果が出せますように!
(鮎澤 崇嗣)

受験に向けて

●二〇一六年もあとわずか。中学三年生は年が明けると、すぐに茨城県私立入試。そして公立高入試まであと約二か月。しかも、残りの期間はものすごいスピードで過ぎていきます。焦る気持ちもあるでしょう。不安にかられて勉強が手につかない、という人もいるのではないのでしょうか。でも、高校受験をする人は、皆同じ状況。自分一人ではないのです。知っておいてほしいのは、勉強を続けていないと、不安は大きくなり、もっと苦しくなるということです。しかも、ただ机に向かうだけではなく、本気で勉強を続けること。一日だけとか一週間とかではなく、受験までほとんど毎日、勉強に割けるだけの時間を割り当て、必死で勉強をしてください。そうすれば、必ず道は開けます。

『志を立てるのに、若いも若きもない。そして志あるところ、若いも若きも道は必ず開けるのである。』(松下幸之助)

●「受験は人生の縮図」と言われます。人生には、楽しいこと、嬉しいこと、泣きたいほど辛いこと、我慢しなければならぬこと、たくさんを経験します。また、人生においては就職する、結婚する、マイホームを建てるなど目標を持って生活します。それは受験においても同じ。調子よく勉強が進められたり、難しい問題が解けたりすれば楽しいし、結果につながれば嬉しい。逆に頑張っているのに成績が伸びなければ辛いし、ゲームやテレビ、友達と遊ぶことも我慢しなければならぬ。そして、志望校という目標に向かって学習に取り組みます。受験は、志望校に合格するためだけではなく、今後の生き方も学んでいるのです。受験勉強は大変かもしれませんが、今後皆さんがよりよく生きるためにも受験が必要ですし、受験をフル活用して成長してほしいと思います。

『人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには走らなければならない。』(アインシュタイン)

●受験が残念な結果に終わった後、「あと一か月あれば合格したのに……」というセリフを耳にすることがあります。必死で勉強した後に言うセリフだから、「あと一か月あれば」というのも真実でしょう。このようなことを言わないようにするために、目の前のすべきことに集中して一問一問積み重ねていきましょう。我々もキミたちを全力でサポートします。

『小さいことをかさねることが、とんでもないところに行く』(イチロー)

(上條)



入試に強くなる心の作り方①

●大学入試で三日連続で白紙答案の人が立教合格。駆け込んで来たのは立教の入試の前日。まあよく泣いた。涙がかれるほど泣かせて、気持ちの整理をさせた。

●第十一志望だけ受かって、そのあと九連敗の人が第一志望の早稲田合格。彼女も気持ちの整理を徹底してやった。

●「もうダメ！絶対落ちた！どうしよう……」と大泣きの生徒が、次の日慶応を受験して合格。電話口でここまで泣けるのかと思うほど泣いた。授業直前にうけた電話で、とりあえずの指示だけして、授業後十時から再び電話で対応。

●こんな例がいくつもある。ここまで極端ではなくても、受験生であれば、それぞれに不安や絶望や無力感を何度となく味わっているはず。でも受験から逃げることはしたくない。どうすればいいのか？

●方法はある。自分の気持ちや性格、失敗のパターンをしっかり分析することだ。分析すればどうしたらいいか見えてくる。ただ、過去に経験のないことだから、「やれ」

★大学受験・高校受験の当日の注意★

- ① 腕時計を忘れるな。
- ② 鉛筆、消しゴムはたくさん持っていけ。(中学生は定規・コンパスを忘れるな！)
- ③ トイレは早めに行く。テスト直前に行つて混んでいたら？あきらめて我慢するのは最悪です。テスト開始に多少遅れても済ませるべき。我慢している状態では解けません。また、大学入試でトイレレットペーパーがなかったという事態がありました。ポケットティッシュは多めにポケットに入れておくこと。
- ④ あがつてしまったら、必ず作業する。言葉で自分を落ち着かせようとしてもムリ。手をさすったり、体操したり、手をふったり、深呼吸をしたり、文房具の手入れをしたり。作業に集中することで落ち着きます。
- ⑤ はつたりに負けない。「できたぞ」「やさしかったよな」「おれ満点かも。」と大きな声で周りを威圧する人がいます。無視。流されてはいけません。
- ⑥ 傾向が変わったら大チャンス。みんなビビります。当然、あなたもビビります。大事なものは、その先。みんなビビって頭の中が真っ白のはず。だから、「みんな点は伸びないぞ。自分は落ち着いて、とれる所を確実に解いて、合格に近づこう。」と考えるのです。おぼえておいてね。
- ⑦ 保冷剤は役に立ちます。頭がポツとなくなったとき、休み時間に、首やほっぺにあてるとすっきりします。
- ⑧ 三教科あれば一教科、五教科あれば一教科や二教科失敗するのは当たり前。
一教科失敗↓引きずって失敗
一教科失敗↓気持ちを整えていつも通り
どちらがいいか分かりますよね。失敗したことをひきずらないで、他の教科をきちんとやれば合格に近づきます。
- ⑨ 昼食後、眠くなる人は、食べるものを工夫する。給食のあとの五時間目に眠くなる人は、テストのときも同じことになりす。昼食をゼリー・プリン・みかんなどにかえると、かなりよくなります。これも模試のときから練習すること。
- ⑩ 会場は暑すぎたり寒すぎたりすることがある。暑いときは上着など脱げるように、また寒いときはカーディガンを着たりホットカイロを使ったりできるように準備していくこと。
残された模試の回数は少ないと思いますが、模試のときも必ず右のことを読んで、覚え込んで行くこと。本番に備えての練習です。

と言われてもなかなかうまくいかない。そこで、ささやかなお手伝い。よく読みなさい。

●①不安で勉強できないというキミは本当にそれでいいのか？そんな過ごしかたをするためにこの一年を過ごしてきたのか？よく考えろ。

●②不安で勉強できないというキミが本当に望んでいることは何か？キミはもう忘れてしまっている。全力を出して合格することではないのか？毎日全力を出して合格すると十回唱えろ。

●③キミの不安は全て想像だ。不安に思う

ことは正しいが、それをひきずるのは自分の願望を裏切ることだ。

① 間に合わなかったらどうしよう。
② 伸びない気がする。(③) 受かる気がしない。(④) 落ちたらどうしよう。
↓思うのは正しい。でも、それにひきずられて毎日過ごせば、不安はどんどん大きくなり、そこにきちんと勉強していかない自分へ自己嫌悪が加わり、もつと状態は悪くなる。といって、不安は消すことはできない。不安は持ったまま、合格の可能性が少しでも大きくなるよう行動するのだ。

以下次号(小林)